知能って何だろう?

〇知能の定義

一般的に「知能」は「頭の良さ」と理解されています。たくさんのことを知っていたり、多くのことを一度に記憶できたり、与えられた問題を短時間で解決できたりする人を、私たちは知能が高い人と見る傾向があるでしょう。

「知能」が何であるかについては、様々な説が提唱されています。ターマン(Terman,L.M.)は「抽象的思考なしうる能力」、コルビィン(Colvin,S.S)は「環境に適応することを学習する能力」といいました。個別的な知能検査として、現在広く使われているウェクスラー式知能検査の開発者であるウェクスラー(Wechsler, D.)は、知能とは「目的的に行動し、合理的に思考し、環境を効果的に処理する総合的、あるいは全体的能力である。」としています。今日ではこの考えが広く支持され、彼の作った知能テストである WISC や WAIS が子どもや大人の知能を測定するためによく用いられています。

これらの諸説に対して、ギルフォード (Guilford, 1985)は、従来の知能検査では十分に測定できない人間の知があると主張し、知能の新しいモデルを提唱しました。そのモデルにおいては、「知能」とともに「創造性」が重要な位置をしめています。彼によれば知能とは、「与えられた問題を一定時間内にいかに速くかつ正確に解けるかというような指標で測定される心理的な能力であり、学業成績と強く相関している。それはちょうど、算数・数学の応用問題の解決時に必要とされるような能力で、問題の中に埋め込まれた要素を組み合わせることによって、一つもしくは少数の解にたどり着くような思考に代表される」ものです。彼は、このような思考を、「収束的思考」と名づけています。収束的思考は、創造的問題解決で必要とされる「発散的思考」の対極に位置しています。ギルフォードの考えを図にすると、以下の図1のようになります。

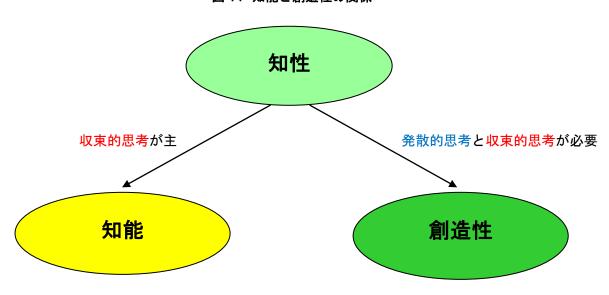


図1. 知能と創造性の関係

弓野憲一(2001) 「総合的学習の学力 測定と評価技法の開発」(明治図書)第1章より 引用・改定

〇最新の知能理論 - 多重知能理論(Multiple Intelligences theory) -

知能がどのように構成されているかについては諸説あります。その中でも現在、最も有力とされている知能の構成モデルは、ハーバード大学のハワード・ガードナーによって提唱された、多重知能(Multiple Intelligences, MI)理論です。ガードナー(1983)は「人は皆それぞれ一組の Multiple Intelligences(多重知能)を持っており、少なくとも $8\sim 9$ つの知的活動の特定の分野で、これらの才能を大いに伸ばすことができる」と述べています。多重知能理論では、知能を以下の 8 つに分類しています。

①言語的知能(Linguistic Intelligence)

話し言葉や書き言葉への感受性、言語を学ぶ能力や他人を理解するために自国語や他国語といった言語を実際に使う能力のことです。特に作家や弁護士などが高く示す能力です。

②論理·数学的知能(Logical-mathematical Intelligence)

問題を論理的に分析したり、数学的な操作をしたり、問題を科学的に究明したり、数や記号、図形を扱う能力のことです。数学者や科学者に高い能力です。

③音楽的知能(Musical Intelligence)

音楽を鑑賞したり、自分で演奏したり、歌ったりする力で、リズムや音程・和音の識別、音楽演奏や作曲・鑑賞のスキルといった、音楽的な能力のことです。作曲家や演奏家は高い音楽的知能をもっています。

④空間的知能(Spatial Intelligence)

空間のパターンを認識し、心の中に空間的世界を再現することができる能力です。空間的知能が高い職業には、パイロットや画家、彫刻家や建築家が挙げられます。

⑤身体運動感覚的知能(Bodily-Kinesthetic Intelligence)

身体の全体や一部を、問題解決や何かを作ったり表現したりするために使う能力のことで、運動神経と考えられます。ダンサーやスポーツ選手、工芸家などは高い身体運動感覚的知能をもっています。

⑥対人的知能(Interpersonal Intelligence)

他人の意図や動機・欲求を理解したり、周りの空気を読み取ったりして、他人とうまくやっていく 能力のことで、ソーシャル・スキルと考えられます。全ての人に必要な能力ですが、教師やセールス マン、政治家や医者には特に必要とされるでしょう。

⑦内省的知能(Inter-personal Intelligence)

長所・短所問わずに自分が誰か、何をしたいか、物事にどう反応するか、何を避けようとするかといった、自分自身を正確に把握し、その上で行動を起こす能力のことです。精神分析家、宗教的指導者は、高い内省的知能をもっているといえます。

⑧博学的知能(Naturalist Intelligence)

身の回りにある様々な事象を認識し、自然の中でどう生き延びていくかといった力で、自然物や人工物の種類を識別することができる能力です。猟師や農民、生物学者といった職業の人たちは特に、高い博物的知能をもっています。

参考URL: http://www5a.biglobe.ne.jp/~nakakun/tajuu.html